

ホワイトハンドコーラスNIPPON×九州交響楽団によるインクルーシブな音楽会

『みえる かんじる 新しい第九～ぼくらはみんなうたうたい～』

開催のお知らせ

「アートと市民をつなぐ」を目標に活動する（公財）福岡市文化芸術振興財団は、2025年12月7日（日）、福岡市民ホールにてホワイトハンドコーラスNIPPON×九州交響楽団によるインクルーシブな音楽会『みえる かんじる 新しい第九～ぼくらはみんなうたうたい～』を開催します。

当公演は、インクルーシブな芸術活動を行うユニークな合唱団「ホワイトハンドコーラスNIPPON」を中心に福岡で新たに公募した参加者たちが九州の常設オーケストラとしてアジアの交流拠点都市“福岡”に本拠地を置く九州交響楽団とのコラボレーションが実現。年末の風物詩、ベートーヴェン交響曲第9番（＝第九）の音楽会を開催。ドイツ手話を元に訳した「手歌（しゅか）」で12月7日、歓喜の歌を奏でます。



© 2025 TANAKA CHISATO All Rights Reserved.

会場で白い手袋が歓喜に舞い、よろこびが響き渡る瞬間を一緒に体感しませんか？

ぜひ関連イベント（※）やオリエンテーション・ワークショップも取材いただき、本公演の広報でのご協力を賜れますと幸いです。 ※別紙チラシあり

■公演 『みえる かんじる 新しい第九～ぼくらはみんなうたうたい～』

公演日：2025年12月7日（日）13：30開演（予定） ※開場は開演の1時間前

会 場：福岡市民ホール・大ホール（福岡市中央区天神5丁目2-2）

内 容：ベートーヴェン交響曲第9番・合唱付 ほか

前売料金：全席指定・税込 （当日券は各券種前売りの500円増し）

【特典付一般S席】 4,500円（3,500円） 【一般S席】 4,000円（3,000円）

【一般A席】 3,500円（2,500円） 【一般B席】 2,500円（2,000円）

※（）内は、U-18料金（要身分証明書提示・B席のみ当日も前売料金）

※障がい者割引：各券種より500円引き（要障害者手帳提示・当日も前売料金）

※車いすスペース、多目的鑑賞室は専用フォームより別途申込み

※賛助会割引あり

■オリエンテーション

日 時：10月11日（土）13:30～16:30（3時間程度）

場 所：福岡市美術館・アートスタジオ（福岡市中央区大濠公園1-6）

■ワークショップ&合同練習

日 時：①10月25日（土）②11月8日（土）③11月22日（土）④11月23日（日）

⑤11月29日（土）13：30～16：30（3時間程度）⑥12月6日（土）13：00～（予定）

場 所：①～④福岡市美術館・アートスタジオ（福岡市中央区大濠公園1-6）

⑤・⑥福岡市民ホール（福岡市中央区天神5丁目2-2）



お問い合わせ

（公財）福岡市文化芸術振興財団 事業課 西田・事業コーディネーター 吉津
福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル8F
092-263-6265（平日9:30-17:00）、m.yoshizu@ffac.or.jp

◆ ホワイトハンドコーラスNIPPON ◆

「舞台から未来を創る」 Social Inclusion

ホワイトハンドコーラスNIPPONは、ろう者、難聴、全盲、弱視、車いすユーザーを含むすべての子どもに開かれたインクルーシブな合唱団。2024年バリアフリーの国際賞を受賞し、国連ウィーン事務局で特別公演。NHK特番で放送され反響を呼んだ。



◆ コロンえりか プロフィール ◆

(ソプラノ歌手/ホワイトハンドコーラスNIPPON芸術監督)

ベネズエラ生まれ。聖心女子大学、大学院で教育学を学んだ後、英国王立音楽院声楽科修士課程を優秀賞で卒業。2019年東京国際声楽コンクールにてグランプリ・歌曲両部門で優勝。国内外で演奏活動を行う。キングレコードより「BRIDGE」をリリース。ホワイトハンドコーラスNIPPONの芸術監督として音楽による社会インクルージョンを目指した活動は2024年にバリアフリーの国際賞ゼロ・プロジェクトアワードを受賞。国際学会での発表や講演も精力的に行っている。4児の母。



詳細は特設サイトへ

特設サイト： <https://sites.google.com/view/whitehand-chorus-fukuoka/>

※随時更新

チケット発売日：2025年9月13日（土）AM10：00～

プレイガイド：

チケットぴあ（Pコード：656-854）

ローソンチケット（Lコード：83298）

財団HP：<https://www.ffac.or.jp/ticket/>

九響オンラインチケット：<https://www.kyukyo.or.jp/ticket/purchase.php>

アクセシビリティ（予定）：プログラム内容によって変更になる可能性があります。

〔貸出〕ヒアリングループ（※1）、イヤーマフ、キッズクッション、

〔定員あり・要予約〕多目的鑑賞室、車いすスペース ※専用フォームより申込

〔情報保障〕手話通訳、字幕または要約筆記、音声ガイド

〔その他〕筆談ボード、多目的トイレ、授乳室およびおむつ替えスペース、フリースペース、
場内の照明配慮、キッズスペースあり（共有）、コミュニケーションボード

※1：難聴者の「聞こえ」を支援する設備

お問い合わせ：（公財）福岡市文化芸術振興財団 092-263-6265（平日9：30～17：00）

主催：（公財）福岡市文化芸術振興財団・（公財）九州交響楽団・福岡市・
福岡市民芸術祭実行委員会（西日本新聞社・RKB毎日放送・福岡文化連盟）

共催：（一社）El Sistema Connect

協賛：九州旅客鉄道株式会社・九州電力株式会社・株式会社西日本シティ銀行・株式会社 福岡銀行
株式会社九電工（※10月より株式会社クラフティアに変わります）・西部ガスホールディングス株式会社・
西日本鉄道株式会社・株式会社JTB

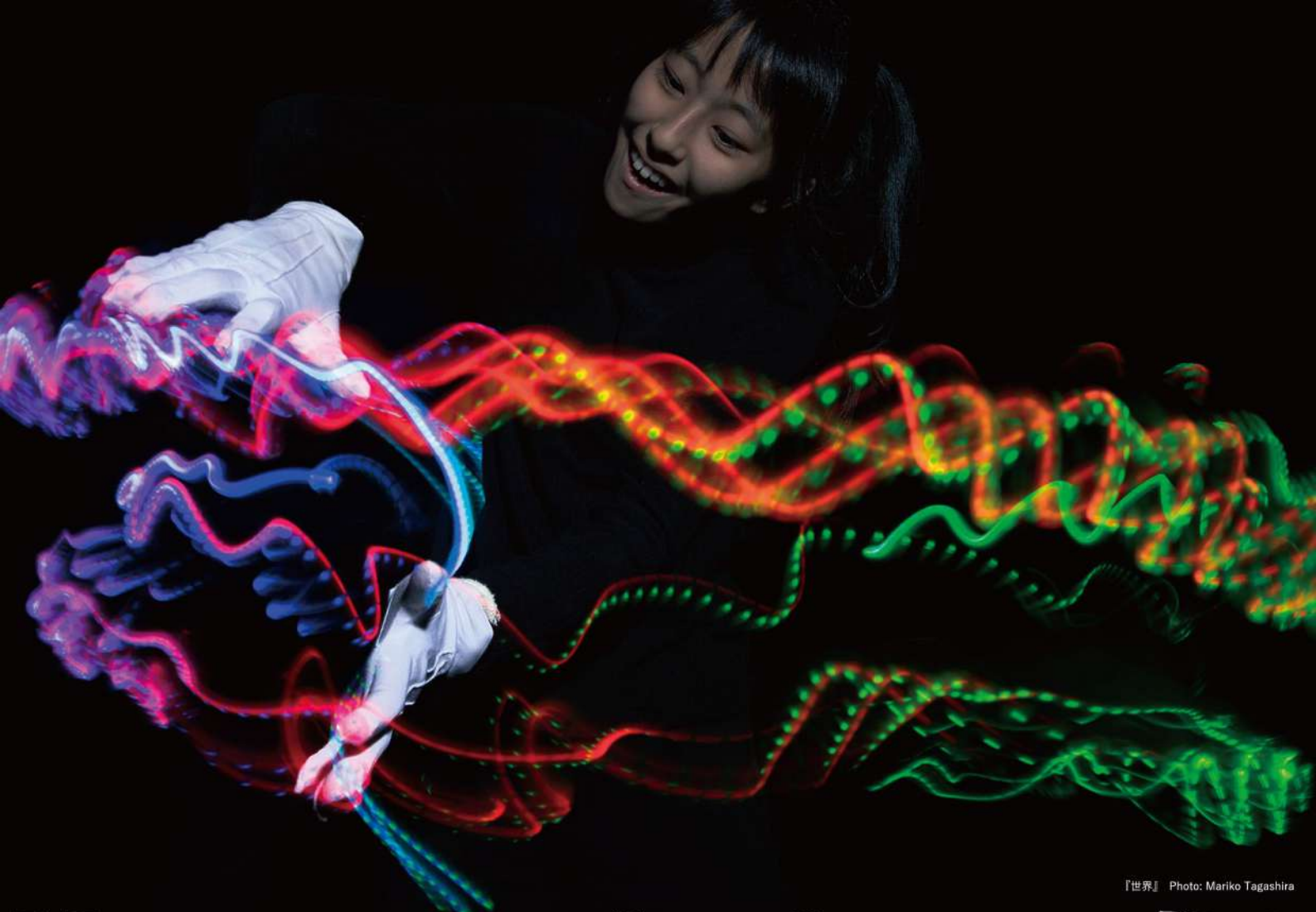
後援：福岡市教育委員会・社会福祉法人福岡県社会福祉協議会・福岡市社会福祉協議会・（一社）福岡市ろうあ
協会・読売新聞社・朝日新聞社・毎日新聞社・テレビ西日本・KBC・FBS福岡放送・LOVE FM

協力：福岡舞台芸術施設運営共同事業体（福岡市祇園音楽・演劇練習場指定管理者）・
NPOティエンポ イベロアメリカーノ・株式会社アンライク 平原慎士

宣伝美術：田中千智／北川デザインオフィス

企画制作：（公財）福岡市文化芸術振興財団

助成：（一財）地域創造



『世界』 Photo: Mariko Tagashira

WHITE HANDS CHORUS

第62回福岡市民芸術祭主催事業×社会参加促進事業

「歓喜の歌」を写真でも体験！手話に訳し可視化された音楽を、
“きせきの人”シリーズをはじめとした写真から感じる展覧会。
見えない人も触って楽しめる立体写真や実際に体験できる
手歌ワークショップにフォトセッション。「見て」「触れて」「参加する」
インタラクティブでインクルーシブなアートを体感ください。

福岡アジア美術館8F・交流ギャラリー 2025年9月11日[木]～16日[火]

9:30～18:00 ※金・土のみ20:00まで ※入場は、ギャラリー閉室の30分前まで 入場無料

主催：(公財)福岡市文化芸術振興財団、福岡市、福岡市民芸術祭実行委員会(西日本新聞社、RKB毎日放送、福岡文化連盟)
共催：(一社)El Sistema Connect、福岡アジア美術館 後援：福岡市教育委員会、(社)福岡県社会福祉協議会、福岡市社会福祉協議会、(一社)福岡市ろうあ協会、
読売新聞社、毎日新聞社、朝日新聞社、テレビ西日本、FBS福岡放送、KBC、LOVE FM 協力：(一財)さわかみ財団、株式会社アンライク 平原慎士、NPOティエンボ・イペロアメリカーナ
企画・制作：(公財)福岡市文化芸術振興財団 助成：(一財)地域創造

関連公演情報

インクルーシブな音楽会 ホワイトハンドコーラスNIPPON × 九州交響楽団

みえる かんじる 新しい第九 ぼくらはみんなうたうたい

2025年12月7日[日] 12:30開場 13:30開演

福岡市民ホール・大ホール

出演：コロネリか(手歌指揮)、辻博之(全体指揮)、

ホワイトハンドコーラスNIPPON、九州交響楽団、九響合唱団 ほか

9月13日[土]AM10:00～

各プレイガイドにて公演チケット販売開始

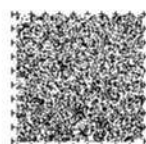
※写真展会期中、会場でも販売します。

詳細はこちらの
特設サイトへ



音声コード Uni-Voice

これは音声コードです。
機器やスマホアプリで読み取ると、
情報を音声で聞くことができます。



WHITE HANDS CHORUS 【ホワイハンドコーラスとは?】

「舞台から未来を創る」Social Inclusion

ホワイハンドコーラスNIPPONは、ろう者、難聴、全盲、弱視、車いすユーザーを含むすべての子どもに開かれたインクルーシブな合唱団。

2024年バリアフリーの国際賞を受賞し、国連ウィーン事務局で特別公演。
NHK特番で放送され反響を呼んだ。



ホワイハンドコーラスNIPPON × 田頭真理子
第九のきせき
写真展

関連イベント

歓喜 —Freude— フォトセッション & 手歌ワークショップ

2025年9月15日[月・祝] ①13:00~14:30 ②15:00~16:30 ※各回開始30分前より受付

福岡アジア美術館8F・交流スタジオ

フォトセッションのテーマは、第九のキーワードである「歓喜—Freude—」。

ワークショップでは、コロネりか氏のレクチャーによる手歌を体験。

さらにフォトセッションでは、LED入り白手袋を着けて手歌を表現する様子を、写真家・田頭真理子氏が撮影します。
撮影した写真は12月7日の公演会場ロビーで展示されます。

料金:無料 申込:不要 ワークショップ:定員無し フォトセッション:各回10~12組程度 ※先着順。定員に達し次第終了。



「ホワイハンドコーラスNIPPON Freude! よろこびのうた」

ドキュメンタリー映画上映

2025年9月14日[日]・15日[月・祝]

福岡アジア美術館8F・あじびホール

9月14日[日]

10:00~12:10 ★

12:40~14:30 ●

15:00~17:10 ★

17:40~19:30 ●

9月15日[月・祝]

10:00~12:10 ★

13:00~15:10 ★

16:00~17:50 ●

★ ホワイハンドコーラスNIPPON Freude! よろこびのうた (124分)

● ホワイハンドコーラスNIPPON season2 Brüder よろこびのウィーン (108分)

ベートーヴェンが晩年耳が全く聞こえないながら書き上げた「第九(歓喜の歌)」を
障がいを持った子どもたちが澄んだ声と「手歌」で歌ったドキュメンタリーを上映。

サイン隊の白い手袋から溢れ出る「歓喜の歌」はオーケストラや合唱とその場の感動を一緒に作り上げていました。

今回は新作としてウィーン遠征の続編も上映します。

料金:500円/回 ※未就学児・賛助会員は無料

田頭真理子 Mariko Tagashira



写真家。広島県尾道市出身。写真家立木義浩氏と出会い写真家志す。郵船クルーズの客船「飛鳥」専属カメラマンを経験したのち、東京工芸大学写真学科入学。2006年独立。日本郵便、サントリーなどの広告写真、「音楽の友」表紙撮影、音楽家、研究者、経営者、政治家のポートレートなど。2017年に「ホワイハンドコーラス」と出会いこどもたちとの関わりの中で得たインスピレーションによって「第九のきせき」の制作を開始。2021年11月東京芸術劇場、2022年4~5月ダイアログ・ダイバーシティミュージアム「対話の森」、2024年2~3WESTLICHT SCHAUPLATZ FÜR FOTOGRAFIE(オーストリア・ウィーン)、2024年9月ベートーヴェンフェスト in ボンにて展示。第1回SDGs岩佐賞受賞。

コロネりか Erika Colon



ベネズエラ生まれ。聖心女子大学、大学院で教育学を学んだ後、英国王立音楽院声楽科修士課程を優秀賞で卒業。2019年東京国際声楽コンクールにてグランプリ・歌曲両部門で優勝。国内外で演奏活動を行う。キングレコードより「BRIDGE」をリリース。ホワイハンドコーラスNIPPONの芸術監督として音楽による社会インクルージョンを目指した活動は2024年にバリアフリーの国際賞ゼロ・プロジェクトアワードを受賞。国際学会での発表や講演も精力的に行っている。4児の母。

お問合せ

福岡市文化芸術振興財団

092-263-6265 (平日9:30~17:00)



会場

福岡アジア美術館
Fukuoka Asian Art Museum

福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル7階
アクセス: 市営地下鉄 中洲川端駅下車 6番出口よりすぐ
<https://faam.city.fukuoka.lg.jp>